議会報告会特集

伊達市議会では、議会基本条例に基づき、議会と市民相互のコミュニケーションの場として平成22年度から毎年『議会報告会』を開催しています。平成26年度は、前期と後期の2回に分けて市内22カ所で開催することにし、前期は7月に別表（4ページ）のとおり10カ所で開きました。報告会の内容は、始めに平成26年3月・6月議会定例会などの審議について報告し、次に出席者の皆さんと議員が地域の課題などについて、意見を交換させていただきました。出席した市民からの質問については、会場で即答できるものはその場でお答えし、できなかったものは調べて後日、電話などで報告させていただきました。また、要望および意見については、その内容を記録し、議会または市執行部に対して要望するものに分け、議会への要望については今後の議会活動に生かすことにしました。市執行部に対しての要望については、議長名で10月20日に市長に報告しています。重要事項として、議会全体で取り上げていくものについては、今後、政策討論会での協議を踏まえて政策を立案していきます。今回は、10会場での意見交換で出された代表的なものを、Q & A方式と市民の皆様からの市政要望事項として、お知らせします。

【問い合わせ先】伊達市議会事務局 ☎575-1217

1班 伊達東小学校区（伊達東地区交流館）、大田小学校区（大田地区交流館）

Q: 伊達市では、伊達市除染組合に1億6,800万円で、昨年9月に発注した際に、明確な仕様書がなかった。仕様書がなく、どういう積算根拠で組合がとったのか。現在、未施工の話がでていますが、執行部は、道路の路線図で発注したと説明していますが、普通なら側溝の幅や深さで、取る土砂の堆積が決まってくるので、その歩掛をいれて、積算根拠が決まります。1億6,800万円で契約したのに、その後、増額して2億4,000万円になっていますが、いつ増額されたのか。所管の委員会ですらいろいろ調査をしていただきたい。

A: 市では調査委員会も立ち上げましたし、これから議会でも調査する予定です。

Q: 東北中央自動車道は、伊達市に4カ所のインターチェンジができますが、特に国道4号線にできるインターには伊達の名前を名称に入れて欲しい。議会としてアピール活動をしてもらえますか。

A: 大変良い意見だと思います。「高知龍馬空港」とか、何か面白い名前があったと思います。参考にさせていただきます。

Q: 伊達東小学校の通学路の除染ですが、どこをやったのかわかりません。通学路の中で0.58マイクロシーベルト、一本石で0.78マイクロシーベルト、館ノ内地内は1.0マイクロシーベルトあります。一番心配しているのは、保護者です。除染をしてください。

A: 学校周辺は、伊達総合支所と相談しながら、

平成26年度分でしっかり対応したいと思います。それと、幼稚園や小学校の敷地内は2回除染をしています。周辺の除染を要望として伝えます。

Q: 私はCエリア除染のアンケートを出しませんでした。アンケートは失礼な話で、本来なら必ず提出してくださいという形にしなければならなかった。隣の家は、畑の境まで除染してもらった。私の家は、雨樋の下を畳一枚分くらい取っていました。そういう状況に違いがあるので、このようなアンケート調査では意味がないです。

A: 市民の皆さまへというアンケートの取り方だったので、無回答の世帯にも意向調査をするよう、要望として伝えます。

Q: Cエリア除染について、一向に進んでいません。それについてはどのようになっていますか。

A: 7月23日に市長に対して、議会として5項目について申し入れをしています。

①. Cエリア除染アンケートで、不安に感じている世帯に対しての個別訪問は、体制を強化し加速化を図ること。

②. アンケートに回答した世帯のうち、住宅除染を希望した世帯の対応を優先して実施すること。

③. 完了していない市道側溝の土砂上げを早期に実施し、必ず現場確認を行うこと。

④. Cエリア除染アンケート無回答世帯について、後日問題が生じないよう意向の把握に努めること。

⑤. 市は、空間放射線量毎時0.23マイクロシー

ベルトを倍の数値に引き上げる動きをしているが、伊達市議会は基準を変えるべきではないと判断している。引き上げ根拠の説明を求めるととも

に、基準値の対応については隣接市町と歩調を合わせることに。

2班 五十沢小学校区（五十沢地区交流館）、上保原小学校区（上保原地区交流館）

Q:「空き家」が年々増えてきていますが、有効な活用について、市としての対策を伺います。

A: 事業予算説明書にも記載されていますが、空き家の実態を把握するため、空き家調査費用として168万円が予算化されています。

Q: 国土調査事業の進捗状況と、未調査地域を早急に進めるよう要望します。

A: 梁川、霊山地域は調査中で完了していません。平成25年度末の調査進捗率は梁川11.71%、霊山38.94%です。本年は梁川第11地区0.26平方km、913筆1,609万円の予算で調査が進められます。国・県の財政負担が厳しく、完了するまでに相当の年数がかかるものと思います。当局に予算を確保し事業を進めるよう伝えます。

Q: 議員の定数について、議会では議論されていますか。

A: 議会では昨年、議員定数に関する特別委員会を設置し検討を重ねました。今後の市政状況、

震災、原発事故からの復興の推移をみながら、早い時期に次期改選期以降の定数削減を検討します。

Q: 市民ホールの建設予定を伺います。建設をするのであれば、目的をもった独創的な施設を望みます。

A: 計画としてはありますが、遅々として進んでおりません。当局に計画の進捗について確認します。

Q: 伝統ある文化、歴史、史跡が各地に存在し、高子二十境も市の史跡としての観光財産です。地域活性化のためにも、内外へ強力な観光発信をし、誘客宣伝を図るよう望みます。

A: 高子二十境は民友新聞にも連載されて関心を抱いている方々が内外におるようです。地域、市の財産でもあり、観光宣伝をさらに高めるよう当局に伝えます。

3班 白根小学校区（白根地区交流館）、小国小学校区（小国地区交流館）

Q: 平成26年の議員発議（災害対策）とは、どのようなことを定めたのですか。

A: 東日本大震災時の混乱を反省し、議員がバラバラの活動にならないように議会としての対応を議会基本条例の中で決めました。

Q: 放射能汚染に対する精神的賠償問題について、議会としてはどのような対応をしているのですか。

A: 国・県・福島県選出の国会議員、および関係各省庁に要請行動などを行っています。

Q: 交流館事業について、議員はどのような考えを持っているか、聞かせて欲しい。

A: 執行部でも説明しきれていない。法改正により所轄省庁ありきでの自由度の低さを改善できます。地域で使いやすい施設にしていけます。指定管理者、地域自治組織への補助金など説明しました。

Q: 介護施設を建てるばかりではなく、自宅介護をしている方は会社を辞めたり金銭的に苦慮する人が多い。また、国民年金のみの老老介護も同様。金銭的な支援が必要ではないか。

A: 厚労省に自宅介護者支援の要望書を提出したことはあります。国の介護保険切り捨ての問題もあり、地方自治体の課題として市当局へ要望していきます。

Q: 上水道を整備して欲しい。半数の世帯が未整備。小さな子どもがいる家庭は放射能への不安もある。水質検査やボーリング調査への助成なども考慮して欲しい。

A: 今年度より井戸への補助限度額が60万円に引き上げられました。ただし、水質検査は補助の対象外となっています。

Q: 市長が言っていた里山除染が一向に進んでいないので、早く進めて欲しい。線引きを含め、市の具体的取り組みや対応はどうなっているのですか。

A: 7月23日に議会として市長にCエリア除染や目標数値堅持などの申し入れをしました。里山除染についても、国の指針などを見ながら今後追求していきます。

Q: 里山除染もやると、市長は公言しました。もつと予算をとるべきではないですか。市長は何を考

えているのですか。議員たちは、そういう市長の姿勢をどう考えているのですか。

A: 希望する方へのCエリア除染実施、アンケート調査未回答世帯の掌握と対処、市道側溝除染未施工区間の実施、除染目標堅持などを議会として申し入れをしました。未施工除染の調査特別委員会を設置予定です。

Q: 一部の人に送られてきたアンケート調査に、原発問題は一言も触れていません。Cエリア除染も含め、数十年にわたる原発災害を考慮しないで、市の計画など立てられるのですか。議会は、どう考えていますか。

A: 意見・要望として記録にとどめます。

Q: 放射能汚染もあるのに、固定資産税減免がなぜできないのですか。議員たちで議案提出できないのですか。

A: 減免分を国が補てんするように、議会として15項目の中に含めて国・県・各関係大臣に要望しています。伊達市独自で減免してしまうと巨額な減収となるので難航していますが、今後も具現化できるように取り組んでいきます。

Q: 除染基準0.23マイクロシーベルトの引き上げはすべきではありません。山の除染が未実施であるこの地域住民は、精神的苦痛が解消されません。

A: 市当局に伝えます。

Q: 伊達市政だより8月号に、市では地域住民

と話し合いながら地域自治組織の立ち上げを進めていると掲載があまりしたが、住民には何の話もないことに不信感を抱きます。

A: 市当局に伝えます。

Q: 交流館も運営組織や費用など、さまざまな問題があるのに、住民への十分な説明もないまま、市が一方的に進めているとしか思えません。

A: 民間管理への移行によるメリットもあります。しかし、説明不足ということも否認しません。地域自治組織で相談して、柔軟で使いやすい交流館とするために、さまざまな意向を聞いていきます。

Q: 農地除染をしても線量は高いままで、ゼオライトなども効果がありません。セシウム137の半減期(30年)までの補償をして欲しい。

A: 市当局に伝えます。

Q: 原発事故の放射能汚染がなければ、井戸水でもよかったが、費用がかかるからと水道整備を差別しないで欲しい。

A: 霊山の小国地区については、一部給水区域でなかったが、放射能汚染後は整備するように動き出しています。もう少し時間がかかります。

Q: 水道整備が難しいなら、ポーリング調査費の全額助成をすとか、給水施設をもっと増やして欲しい。

A: 要望を伝えます。

4班 堰本小学校区(堰本地区交流館)、月舘小学校区(月舘ふるさとふれあいホール)

Q: 新聞などで報道された除染未施工問題について、公費を使っているのだからしっかり調査して欲しい。

A: 市で調査委員会を立ち上げ、調査しています。今後、議会でも特別委員会を立ち上げ調査する予定です。

Q: Cエリア除染のアンケートで、除染を希望した人は除染してもらえるのですか。

A: 7月23日、議会として執行部にCエリア除染について5つの点で申し入れを行いました。

Q: 他地域の交流館には職員が派遣されていますが、旧梁川町の地区交流館には派遣されていません。公平に職員を派遣して欲しい。

A: 交流館が自治組織の運営が変わる際、是正を求めています。

Q: 除染はまだ終わっていません。除染には長い期間が必要なので、除染の展望・長期目標を出して欲しい。

A: 市当局に伝えます。

Q: 街路灯の新設について、できる・できないなどしっかりと対応して欲しい。

A: 市当局に伝えます。

Q: 大関会館前の部分だけ側溝がありません。雨が降ると土側溝なので線量が高い土が流れ出ています。側溝を付けて欲しい。

A: 市当局に伝えます。

Q: 人口減少が激しい中、小学校の統廃合は全市的に考える時期にきています。議会でも議論して欲しい。

A: 議会でも同様の考えですので、今後活発に議論していきます。

Q: 東電第2原発廃炉に対して、市は意見をはっきり出していません。議会はどうかのですか。

A: 議会は、県内原発全て廃炉の意見書を出しています。

Q: 月舘の舘山から月見舘森林公園に行く細道がありますが、整備していないため荒れています。整備して森林浴のできるウォーキングコースをつ

くってはどうですか。

A：市当局に伝えます。

Q：土石流調査で自分の土地が危険地域になっています。調査結果を基にした話が地権者には何もありません。どういうことか。

A：県が調査しましたが、執行部に確認して回答しますとし、後日「説明会開催については事前に回覧板で周知したとのことです。」と回答。

Q：月舘小学校の駐車場の真中を車が通って危

ない。放課後児童クラブもあり安全の確保を図って欲しい。

A：確認して、安全を確保するよう市当局に伝えます。

Q：生態系維持のため、広瀬川の汚染調査をお願いしていました。確認して欲しい。

A：市当局に確認して、回答しますとし「河川水のモニタリングは実施していますが、川底の汚染調査は予定されていません。」と回答。

5班 栗野小学校区（栗野地区交流館）、旧泉原小学校区（泉原勤労者交流センター）

Q：議会報告会の回数を増やして欲しい。

A：要望として、検討していきます。

Q：議員定数削減を、今年度中に実施すべきです。

A：9月議会において、特別委員会を設置する予定です。

Q：Cエリアの除染は、具体的にどうするのですか。

A：アンケートを実施した後、現在チームをつくり戸別訪問を行っています。

Q：石田の焼却施設は、できるのですか。

A：起工式が行われ、工事が進行中です。

Q：防火水槽は震災以後、泥上げしていませんが今後どうするのですか。

A：6月議会で、時期は示されませんでした。やる予定で対処したいとの答弁がありました。

Q：公民館から交流館への今後の進め方は。

A：交流館への移行の目的は、公民館として制約があり、使い勝手が悪い部分を排除し、交流館として地域で使い勝手の良い施設として運営していくためです。今年度は交流館条例を制定し、看板の掛け替えを行いました。今後、交流館としての機能が果たせるように、地域の皆さんと話し合いを行い、今年度から来年度を含めて進めていく予定となっています。運営主体については、地域の皆さんになりますので、市も一緒になってシンポジウムの開催などにより事例を示しながら、地域自治組織の立ち上げに取り組んでいます。

◎会場別参加者数

実施月日	1班	2班	3班	4班	5班
7月24日(木)	伊達東地区交流館 9人	五十沢地区交流館 8人	白根地区交流館 23人	堰本地区交流館 9人	栗野地区交流館 20人
7月25日(金)	大田地区交流館 19人	上保原地区交流館 22人	小国地区交流館 16人	月舘ふるさとふれあいホール 15人	泉原勤労者交流センター 22人

◎役割分担表

	責任者	司会	書記	班員	
1班	佐藤 実	原田 建夫	菅野 喜明	八巻 善一	菅野 與志昭
2班	松本 善平	大條 一郎	大橋 良一	滝澤 福吉	橘 典雄
3班	熊田 昭次	丹治 千代子	近藤 眞一	高橋 一由	大和田 俊一郎
4班	清野 公治	小野 誠滋	佐藤 直毅	吉田 一政	佐藤 清壽
5班	佐々木 彰	半澤 隆	中村 正明	菊地 邦夫 (24日)	(議長) 安藤 喜昭
		中村 正明	菊地 邦夫	半澤 隆 (25日)	

市民からの要望として10月20日に市長に報告した主な内容

◇放射能対策・復興関係

- ① 除染しないところがあるが、どこを除染するのかわからないと市民は不安だ。(1班 伊達東地区交流館)
- ② 市長選挙でCエリアの市道関係はすべて除染をするという公約だったが、一向にやってくれない。約束したことは申し入れでなく、ここまでやれとってほしい。以前、市から委託業者が来て測ったら、6 μSv あったがそこは農地で除染するエリアではないと言われた。熊野神社は、2.5 μSv くらいあった。今後、どう対処するのか。(1班 大田地区交流館)
- ③ 除染をスピードアップするため、業者に任せず、自分たちで除染ができる制度にしてほしい。畑は0.6から0.7 μSv ある。市では1 μSv 以下だから除染の対象にならないという。2階の除染は、自分でもできるようにしてほしい。農地については、宅地のまわり20mもやってほしい。(1班 大田地区交流館) (3班 小国地区交流館)
- ④ 陽光台の公園、堰本地区交流館の除染が行われていない。子どもたちが遊ぶ場所や、放課後児童クラブのある所は除染してほしい。放射線量にしきい値は無いので、線量低下のためにやれることは可能な範囲でやってほしい。(4班 堰本地区交流館)
- ⑤ 家はAエリアで飯館村と隣接している。近くのモニタリングポストの数値は0.8 μSv 前後。宅地から20mは除染すると言ったがやっていない。除染のやり方が、市と国で違うのはおかしい。飯館村は0.3 μSv 前後だ。(4班 月館ふるさとふれあいホール)
- ⑥ 国・県・市道の除染が中途半端、神社・仏閣・公園は実施されていない。Cエリアも今後除染完了までに何年かかるのか。除染の進捗が遅い、しっかりやってほしい。(5班 栗野地区交流館)
- ⑦ Cエリアの除染は具体的にどうするのか。被ったのは一緒なので、個別対応ではなく全部除染を実施すべき。福島市では地表1cmで0.23 μSv を目指し実施している。他市町ができるのに、なぜ伊達市はできないのか、市長は公約違反である。Cエリアの除染、市長は選挙戦の時だけやると言って実際はやらない。言わなかったらよかった。市民の声が反映されていない。(5班 栗野地区交流館)
- ⑧ 除染アンケート3割しか回答が無いが、どの様に受け止めているのか。(5班 泉原勤労者交流センター)
- ⑨ アンケートの質問の項目が難しく、高齢者には理解が出来なかったのではないか。(5班 泉原勤労者交流センター)
- ⑩ Cエリアの除染、市長のマニフェストの内容がおかしいのではないか。(5班 泉原勤労者交流センター)
- ⑪ 市は復興と付ければ地域が良くなると思っているのは間違い。地域に落とすことが復興ではない。

市が責任を持ってやってもらうことが復興だと思う。(3班 小国地区交流館)

◇防災・安全・環境・衛生関係

- ① 今年は特に大雪だったが、旧伊達町では10cmの雪が降れば除雪すると計画を立てていた。市になって、除雪の計画が変わったのか。通学路も含め、除雪をしてほしい。(1班 伊達東地区交流館)
- ② 常備消防について、福島市消防本部と伊達地方消防組合の合併を考えてどうか。(1班 伊達東地区交流館)
- ③ 災害時に、市に改良・復旧などを連絡(要望)しても、担当が別であるとかで、たらい回しの対応だ。速やかな対応のできる業務体制と職員の教育を徹底されるよう要望する。(2班 五十沢地区交流館)
- ④ 小国川の川底が土砂で高くなっている。台風などの増水時に氾濫しそうで心配。県などへの確認と、市としてもなんらかの対応をしてほしい。(3班 小国地区交流館)
- ⑤ 飯館村除染のため、300人程度の作業員宿舎が月館地域にあり、治安悪化防止のためにパトロールなどを強化してほしい。(4班 月館ふるさとふれあいホール)
- ⑥ 仮置き場の草刈りなどの管理は、地主に言われる前に徹底してほしい。リサイクル補助金が、1kg 3円から2円に減額された。大事な活動資金なので、元に戻してほしい。(4班 月館ふるさとふれあいホール)
- ⑦ 布川浄水場の不法投棄ごみを処分し、防止策を講じてほしい。(4班 月館ふるさとふれあいホール)
- ⑧ 沼の環境整備について、栗野地区のシンボルの長沼を美しくしたい。地区民の努力だけでは限界があるので、行政による整備を行ってほしい。(5班 栗野地区交流館)
- ⑨ 下水処理場の悪臭問題について国見町では補償の交渉を行っているが、伊達市として交渉の取り組みは。天候、風向きにもよるが下水処理場の悪臭がまとまって来ることがある。調査してほしい。(5班 栗野地区交流館)
- ⑩ 防火用水の泥上げをしてほしい。(5班 泉原勤労者交流センター)

◇市民協働・まちづくり・地域づくり・健幸都市関係

- ① 合併時人口は6万9千人、今6万2千人。特に伏黒は人口減少が進むので、それに合わせた土地利用を考えてほしい。合併して8年間土地利用計画の見直しをしていない。子どもが増えるような、開発行為を行っていただきたい。(1班 伊達東地区交流館)
- ② 地域の「案内看板」設置を要望する。地区交流館事務所の事務用品が無く、自己用品を使用しているので備え付けを要望する。交流館に職員を配置してほしい。(2班 五十沢地区交流館)

③ 地域住民に交流館運営をするゆとりはない。市が責任を持って、管理・運営をしてほしい。伊達市政だより8月号に、市では地域住民と話し合いながら地域自治組織の立ち上げを進めていると載っていたが、住民には何の話もないことに不信感を抱く。(3班 小国地区交流館)

④ 交流館について、条例は制定されたが明確なビジョンが示されていない。なぜ交流館なのか、役割分担などを明確にしてほしい。(5班 栗野地区交流館)

⑤ 婦人会の会員が減少して活動に支障をきたしている。婦人会は地域にとって大切な組織なので、補助金を減額しないでほしい。バイパスが通ると、街中が寂れてしまう。JAや商工会などでお茶飲み場やサロンをつくってはどうか。(4班 月館ふるさとふれあいホール)

⑥ 白根は健康都市づくりのモデル地区になっている。健康づくりのためにも、パークゴルフ場、遊歩道の整備、憩いの場をつくってほしい。(3班 白根地区交流館)

⑦ 伊達市は箱モノの新設が多い。将来人口を予測し施設のあり方を検討すべき。(5班 栗野地区交流館)

⑧ 泉原地区の活性化の事業を考えてほしい。(5班 泉原勤労者交流センター)

◇福祉関係

① 特別養護老人ホームは、今後、補助金をいれて増床すると思うが、地域では入れなくて困っている人たちがたくさんいる。増床するのか、新築するのか、早くやってもらいたい。(1班 伊達東地区交流館)

◇農林業・商工業・観光関係

① 働く場所の確保、労働力の確保などについての施策を要望する。(5班 栗野地区交流館)

② 泉原地区は未舗装1箇所あるが、泉原川面地区農道(約200m)の舗装工事を早期に実施してほしい。(5班 泉原勤労者交流センター)

◇道路・河川・公園・上下水道関係

① 保原小学校の西側角から古川沿いまで砂利道なので、舗装整備改良を要望する。松陽中と保原小学校の通学路に歩道がない、安全対策を要望する。JA上保原支店から内山まで約500m位の距離にガードレールもなく、危険なので設置されるよう要望する。(2班 上保原地区交流館)

② 三日市のカノウヤさんから巖島神社に抜ける道路が、未だ一方通行なので道路拡張を要望する。昨年の暮れに測量をされているが、その後工事が進められていない。生活道路の整備改良を要望しても、職員の異動により引き継ぎが十分でなく、何回も同じことを要望している。職員の異動が早い。特に技術職の短期間の異動は、再考すべき。(2班 上保

原地区交流館)

③ 農村広場の除染後、真ん中に水が溜まるようになった。転圧など、水が溜まらないような処理をしてほしい。高齢化が進み、若者が少なくなってきている。道路、河川などの草刈りや清掃に助成金や支援がほしい。河川の残土処理を国(国土交通省)に要望してほしい。(3班 白根地区交流館)

④ 国道349号と399号の月見橋交差点が朝夕混んでいる。右折に対する対応を要望する。(4班 月館ふるさとふれあいホール)

⑤ 行政サービスの向上を求める。生活道路の修繕、改良など、すぐやる課の設置も必要。(5班 栗野地区交流館)

⑥ 安価で自由に見える、水の自動販売機がほしい。(3班 白根地区交流館)

⑦ 下小国の砂防ダムから流れる水の側溝整備をしてほしい。(3班 小国地区交流館)

⑧ 上水道整備で上小国大木集落の3軒は、距離が遠いとして除かれた。遠いからという理由で、差別しないで平等にやってほしい。放射能汚染がなければ井戸水でもよかったが、費用がかかるからということで差別しないで水道整備をやってほしい。(3班 小国地区交流館)

⑨ 新田から大石共選所までの上水道工事の跡が凸凹になっている、屋敷通りだけでも優先して工事をしてほしい(約200m)。新田地区砂防ダムからの水路のU字溝が壊れているので直してほしい。(5班 泉原勤労者交流センター)

◇教育・生涯学習関係

① 複式学級では、子どもの教育に心配がある。望めば梁川小学校に通えるようにできないか。(3班 白根地区交流館)

② 県内の小・中学校耐震強度の順位が下から6番目、耐震化を進めてほしい。(4班 月館ふるさとふれあいホール)

③ 五十沢グラウンド駐車場の整備を要望する。(2班 五十沢地区交流館)

④ 滝野神社の屋根・石垣の修繕であるが、文化財保存の助成金について調べてほしい。(3班 白根地区交流館)

◇財政・広報広聴・その他

① 毎年事業説明書の冊子が配布され、旧町ごとに説明会が開かれているが、出席率も低いようだ。周知方法を検討すべきと思う。説明資料は旧町ごとにコンパクトに作成した資料で説明いただきたい。(2班 五十沢地区交流館)

② パークゴルフ場のことで市長への手紙を出したが、返事が来ない、どうなっているのか。(3班 白根地区交流館)

③ 国保のことで霊山総合支所に問い合わせに行ったが、対応が酷かった。きちんと回答できる職員の配置など、支所機能を充実してほしい。(3班 小国地区交流館)